

令和2年度 宮城県健康な^{こうくう}口腔とよい歯の学校表彰募集要項

主催：宮城県教育委員会・宮城県歯科医師会

後援（予定）：仙台市教育委員会・宮城県学校保健会

— 令和2年度 宮城県健康な口腔とよい歯の学校表彰調査票に対する記入上の注意事項 —

- この調査票から健康観に対する理念、特色ある目標設定と実践活動、そして学校、家庭、地域との連携とそれぞれの役割を読み取りますので、正確な実績と実践内容をご記入ください。
- この調査票の他に補足的な資料がありましたら、添付していただいで結構です。添付資料は、あらかじめご連絡くだされば返却いたします。
- 学級数、在籍児童数、関係者氏名などは、すべて令和2年5月現在のものを記入してください。

調査票各欄の記入上の注意

1. 本校の学校保健の概要（今年度の概要について記入）

この欄は、**学校長が記入するか、もしくは学校長の指示によってご記入ください。**

- (1) 本校の教育目標
貴校の教育目標について、端的に記入してください。
- (2) 学校保健全般の位置付け
貴校の学校保健全般の位置付け（健康観、学校保健の重要性を含めて貴校の学校保健に対する理念など）について、端的に記入してください。
- (3) 本校の学校保健活動の概要
教育目標達成のために実践している貴校の学校保健活動の内容と成果・課題について、保健教育、保健管理、組織活動の三つの領域に分けて記入してください。
○学校保健に係わる研究事業、調査等がある場合は、その主題等も記入してください。
○学校保健委員会開催回数は、**前年度のもの**を必ず記入してください。
- (4) 本校の現在までの学校保健関連の主な受賞歴
貴校の学校保健に係わる主な受賞歴を記入してください。

2. 本校の学校歯科保健の概要（前年度の実績を記入）

- (1) 本校の学校歯科保健の目標
貴校の学校歯科保健の目標をご記入ください。
- (2) 学校歯科保健全般の活動内容とその成果・課題
目標達成のために実施している歯科保健活動の内容と特徴・成果について、保健教育、保健管理、組織活動の三つの領域に分けて記入してください。
下記の(3)～(6)には、学級活動、学校行事、児童会活動、その他総合的な学習等において実施した歯科保健活動の状況を**前年度の実績によって学年毎に記入**してください。（学年単位の実施でないものは、いずれかの学年の欄にご記入いただき、その旨注釈を付けてください。）
- (3) 学級活動における歯科保健指導の状況
○学級単位で実施された歯科保健指導について学年単位で記入してください。
○1単位時間のものは「L」、1/2単位時間のものは「S」の符号を付けてください。
○スポットのような短い時間のものは、この項には含まれません。
- (4) 学校行事における歯科保健指導の状況
○歯・口腔の健康診断以外の歯科保健指導に関連する学校行事について記入してください。
○学校全体で実施されたもの他、低学年のみ、高学年のみで実施されたものは、その旨記入してください。
- (5) 児童会での歯科保健活動の状況
児童会活動で取り上げられた歯科保健関連の主題とその活動状況を記入してください。
- (6) 本校の特色ある歯科保健活動の状況
総合的な学習を含む、その他の歯科保健教育、歯科保健管理及び組織活動において、特徴的な活動として紹介できる活動があればご記入ください。

3. 歯科保健状況（今年度定期歯科健康診断結果）

- (1) 学年別歯科保健の状況
この欄の記入は、**乳歯・永久歯を含めて**（Ⓢ乳歯・永久歯の区別をせず計算する。）今年度の定期健康診断の歯の検査結果について、検査票の記載をもとに記入してください。
- (2) **現6年生**の今年度ならびに前年度の永久歯のむし歯等の状況
現6年生の今年度と、その児童が5年生の時の永久歯のむし歯等の状況について算出して記入してください。
現在の6年生について、今年度と前年度を比較するものですのでご注意ください。
○「むし歯総数(d)」とは、**永久歯の「未処置のむし歯数(b)」と永久歯の「処置歯数(c)」**を合計した数です。
「1人当たりD(M)F歯数」とは、「むし歯総数(d)」を「被検者数(a)」で除した数値で、**小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで**記入してください。

この集計では喪失歯（△）の数は記入しないようになっていました。この時期の児童では、一般に「むし歯」のために抜歯されることが少なくなっている一方で、外傷や歯科矯正治療のためなどで抜去される場合が目立つようになっていました。そこで喪失した永久歯がむし歯のために抜かれたか、その他の原因によって抜かれたかは検査票の上だけでは区別することができません。このため、あえて喪失歯（△）の数をあげることを控えました。

したがって、1人当たりD（M）F歯数の欄も実際にはMを除いた数値になります。そこでD（M）FとMを（ ）に入れてあります。実用上これでDMF歯数（1人当たり平均DMF歯数）といっても差し支えないと考えられています。

4. 個別的な歯科保健活動の概要（前年度の概要を記入）

(1) COを有する者やGOと判定された者への対応

COを有する者やGOと判定された者に対して行った個別的な歯科保健活動（グループ指導等も含む）について、その回数と延べ人数、養護教諭等ならびに学校歯科医の対応の概要を記入してください。

(2) 歯列・咬合、顎関節、歯垢の付着状態や歯肉の状態が「1」もしくは「2」と判定された者やその他の歯疾患をもつ者への対応

歯列・咬合、顎関節、歯垢の付着状態や歯肉の状態が「1」もしくは「2」と判定された者やその他の歯疾患をもつ者に対して行った個別的な歯科保健活動（グループ指導等も含む）について、その回数と延べ人数、養護教諭等ならびに学校歯科医の対応の概要を記入してください。

(3) 健康相談等の状況

その他の健康相談等の指導回数と延べ人数、また、養護教諭等による健康相談や個別指導等、学校歯科医による健康相談や個別指導の概要を記入してください。

5. 学校歯科保健の組織活動

とくに前年度に家庭および地域に対し歯科保健について働きかけたこと、地域の歯科医療機関や歯科医師の団体などと共同で行った活動などの概要について記入してください。

6. 教員の学校歯科保健に関する研修への参加状況

前年度内に貴校教員が校内または校外で学校歯科保健の研修を受けたことがあるか、否か、「有・無」どちらかを○印で囲んでください。また「有」の場合はその回数を記入し、研修のテーマと内容の概略を記入してください。

7. 学校歯科医の活動状況

(1) 前年度の執務状況

学校歯科医の執務回数を活動毎に記入してください。（歯・口腔の健康診断、健康相談・歯科保健指導は午前、午後をそれぞれ1回として数えてください。学校行事への参加は、運動会、卒業式などの行事を指し、健康診断は含みません。また、この調査票への記載に限り、外傷発生などで学校歯科医が、緊急に電話などで相談を受けた場合は回数に含めないでください。）

(2) 特記すべき学校歯科医の活動

学校歯科医がどのような理念を持って活動に取り組んでいるか、また、歯科保健に関してどのような講話等を行ったか、総合的な学習等に参画しているかなどを記入してください。

8. 本校の学校歯科保健活動で特記すべき事項

歯科保健に関連して特記すべきものがありましたら記入してください。

提出先：一般社団法人宮城県歯科医師会 〒980-0803 仙台市青葉区国分町一丁目5-1 TEL 022-222-5960

締 切：令和2年10月1日（木）必着

優れた学校は、全国審査に推薦いたします。

なお、提出された調査票は返却されませんので保存の必要があれば、学校でコピーしてください。

※ 調査票のご提出につきましては、PDF と Word でのメール送信にてお願い申し上げます。

(Mail address : yamauchit@miyashi.or.jp)